

<校務利用④> 学力調査の分析・考察

校種	小・中	校務・教育	chatGPT, Gemini, Bing, copilot, みんなのコード, その他
活用場面	①児童生徒に係る業務 ②学校行事 ③学校運営に係る支援 ④外部対応支援 ⑤その他		
取組	学力調査の分析・考察 (notebookLM)		

【プロンプト】

諸見小学校における児童の具体的な学習課題を三つ挙げよ。また、それらを20字以内でまとめよ。

【成果と課題】

具体的な数値データを基に課題を挙げたため、課題分析に客観性が生まれた。
抽出された課題を基に、教師間で共通理解を深め、協力して解決策を議論するための材料が得られた。
▲AIが挙げた課題そのまま解釈するだけでは不十分で、教師側でさらに具体的な改善方法を考え、実施する手間は必要。

生成AIの回答ドキュメント

は、以下の3点に集約できます。解決能力の不足。特に、問題場面の数量関係を捉えて式に表すことや、小数の除法計算、速さの概念の理解に課題が見られます。例えば、問題文の「少ない」という言葉から引き算を選んでしまったり、除数の小数計算を正しく行えなかった事例が挙げられています。また、「3分間で180m歩く」という情報を「1分間で180m歩く」と誤解するような、速さの概念に関する誤解も確認されています。これらの課題は、全国平均との差が〇〇ポイント、〇〇ポイント、〇〇ポイントと大きく、早急な改善が必要です。

・国語における読解力と文章表現力の不足。具体的には、学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うことも、物語の全体像を具体的に想像する力、表現の効果を考える力が不足している。また、「心に残ったところ」は書けても、「心に残った理由」を言語化できないなど、条件を満たす文章を作成する能力にも課題があります。漢字の誤りも多く見られ、「技」を「枝」と書くなど、正しい漢字の知識が定着していないことが示唆されています。

・学習習慣と学習意欲の課題。質問紙調査の結果から、1日に3時間以上テレビゲームをする児童が多く、全国平均との差が〇〇ポイントと大きいことが分かります。また、「英語の勉強」や「読書」の質問に対して、全国平均との差が〇〇ポイントと大きく、学習意欲の低下が見られます。さらに、テレビゲーム時間が長い児童は、学校外での学習時間が短い傾向にあることから、時間の使い方や生活習慣に課題があると考えられます。これらの課題は、学んだ知識を生活で活用する力や、自律的な学習能力の育成を妨げる要因となっています。

さらに要約させて一言で・・・「基礎学力と学習習慣の向上」